

平成31年度上田市立川辺小学校グランドデザイン

〔長野県の学校
教育の理念〕

子どもの内なる
力を伸ばす教育

地域と共に歩む
学校

学校教育目標

たくましく かしこい子どもの育成

〔めざす子どもの姿〕

- 深く考え取り組む子ども〔知〕
- 思いやりのある子ども〔徳〕
- 健康でがんばりのきく子ども〔体〕

〔上田市教育大綱〕

燦と輝く上田の
未来を紡ぐ人づくり

- 確かな学力を養う
- グローバルな能力を
培う
- ふるさと上田に
学ぶ

〔児童の実態（よさのとらえ）〕

- ・学習に、素直に取り組める。
- ・一生懸命、話を聞こうとする。
- ・言われたことにまじめに取り組む。
- ・前向きな気持ちをもっている。

〔地域・保護者の願い〕

- ・友だちの考えを大切に、主体的に学
ぶことができる。
- ・明るく、はっきりと挨拶できる。
- ・健康で、元気に活動できる。

かんがえよう

- 自分の考えを書く
- すすんで発表する
- 最後まで話を聞く

つなげよう

- 明るく元気なあいさつをする
- 歌声をひびかせる
- 人の気持ちを考えた行動をする

きたえよう

- 給食を残さず食べる
- 元気に体を動かす
- 時間いっぱいそうじをする

「本年度の重点目標」（研究テーマ）

一人ひとりの子どもの「よさ」に目を向け、学びを高める授業づくり
～「学びのユニバーサルデザイン化」を深める～

学力向上に関わって ～授業改善を進めるための取り組み～

【かんがえよう】

- ・前時までの学習過程や問題意識をもとに記録の累積を進め、既習事項を的確に整理し、見直しをもって活動できる授業を実施する。
- ・「めあて」「もんだい」「まとめ」等のカードを使用し、学習スタイルの統一化、めりはりある授業を展開する。
- ・考えの流れが分かる板書やノート指導の徹底を図る。
- ・「個」で考える場面の充実、五感に訴える教材や幅広い考えの出る発問を工夫し、思考力を高める。

【つなげよう】

- ・ホワイトボードや付箋などを活用した話し合い活動を取り入れ、「個」の考えを「ペア」「グループ」「全体」に広げることで表現力を高める。
- ・友だちの声に耳を傾け、発言を自分の言葉で表現し、発表を通して考えを共有できる「学び合い」の授業を実践し、学びに向かう力を育てる。
- ・授業の「見とどけ」に重点を置いた、考察場面の充実を図る。
- ・児童の取り組みを認める場を持ち、次時へのつながりを大事にする。

【きたえよう】

- ・一人ひとりの取り組みの意欲を的確にとらえ、基本事項の定着を目指したスモールステップ学習を積み重ね、知識・技能の習得を図る。
- ・「家庭学習の手引き」、生活学習ノート「紡ぐ」をもとに、家庭学習の定着と充実を図る。
- ・音読や日記、読書などで文の構成に触れる。

【学力定着を評価するための検証方法】（達成目標と検証時期）

- ユニバーサルデザイン化の視点に照らし合わせた自己目標設定と振り返り・検証をする（学期ごと）
- 国語と算数の単元テストで、全国平均と比較を行い、指導の見直しを行う（各学期）
- 児童評価で「授業がわかりやすい」を95%以上にする（7、12月に検証）

【教職員の指導力向上のための研修】（研修内容と頻度）

- 学力向上にかかわる研修を受けた職員が職員会で全体研修を行う
- 学年会で教材研究やQ-U分析を行う時間を位置づける
- 一公開授業を行い、様々な授業から学ぶ場を設け、自分の実践に生かす

日常生活で大切にしている重点

- 自分の考えや願いをすすんで表現できる授業づくり（一人ひとりの子どものよさを生かす授業づくり）
- 自分や友だちのよさに気づき、思いやりの心や感動する心を育てる授業（人権教育の充実）
- 「人・もの・こと」と関わり合いながら、追究する授業（地域の方々と学ぶ体験・交流学習）
- 安心して自分のよさを発揮できる学級、仲よし会、クラブ活動、学校行事（目標と振り返りの実施）
- 共に生きる態度、お互いのよさを認め合う集団作り（Q-U検査を利用した学級づくり）
- 発達段階に応じて適切な学習環境を整え、可能性を伸ばす教育（「学びのユニバーサルデザイン化」）
- 自分の命は自分で守る習慣と態度の育成（食育学習、登校班、交通安全宣言、危機対応）